

音声広報CD「明日への声」及び
点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」
平成29年度アンケート調査 報告書

2017年1月
内閣府政府広報室

目次

調査実施概要	1
①CD・冊子 利用者調査の結果	2
Ⅰ 音声広報CD「明日への声」について	3～9
Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について	10～16
Ⅲ 共通事項	17～19
(参考)対象者属性	20
②CD・冊子 配布先施設等向け調査の結果	21
Ⅰ 施設について	22～23
Ⅱ 音声広報CD「明日への声」について	24～30
Ⅲ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について	31～37
Ⅳ 共通事項	38～39

調査実施概要

1. 調査目的

視覚障害者等向け資料音声広報CD「明日への声」、点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」の利用者を対象とした調査（利用者調査）及び配布先施設・団体に向けた調査（配布先施設・団体調査）を実施し、音声広報CD、点字・大活字広報誌の利用状況等を把握し、今後の効果的かつ効率的な広報展開に資する情報を得ることを目的とする。

2. 調査対象・回答数

(1)利用者向けアンケート

- ・対象 全国の視覚障害者 700人
- ・回答数 106人（回収率15.1%）

(2)施設・団体向けアンケート

- ・対象 配布先施設・団体 340箇所
- ・回答数 132箇所（回収率47.0%）

※各アンケート項目において、無回答は回答数に含めていない。

3. 調査期間

平成29年11月中旬～平成29年12月上旬

4. 調査方法

郵送によるアンケート調査

5. 調査企画管理・実施機関

株式会社 廣濟堂

①CD・冊子 利用者調査の結果

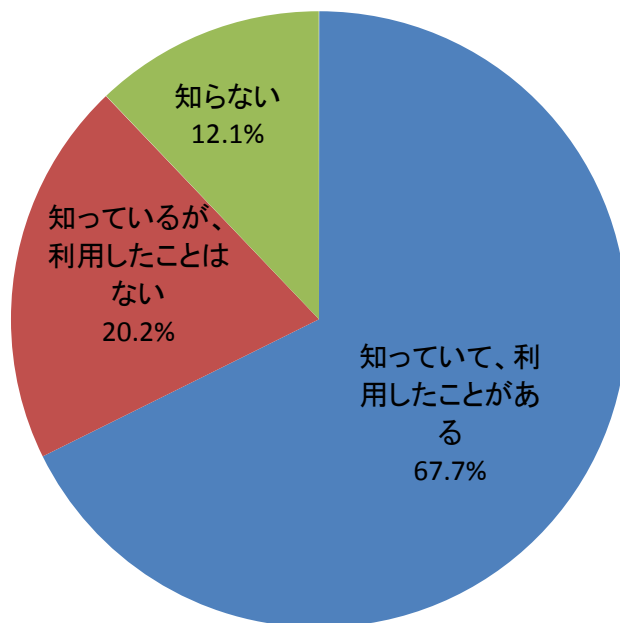
I 音声広報CD「明日への声」について

問1 内閣府では、視覚障害者の方や小さな文字が読みにくい方等に向けて、政府のさまざまな情報を分かりやすくまとめた音声広報CD「明日への声」を作成しています。

このCDをご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆ 「明日への声」の認知状況をみると「知っていて、利用したことがある」が67.7%、「知っているが、利用したことがない」が20.2%となっており、知っている方は全体の約9割である。
- ◆ 「知らない」と回答した方は12.1%である。

N=99



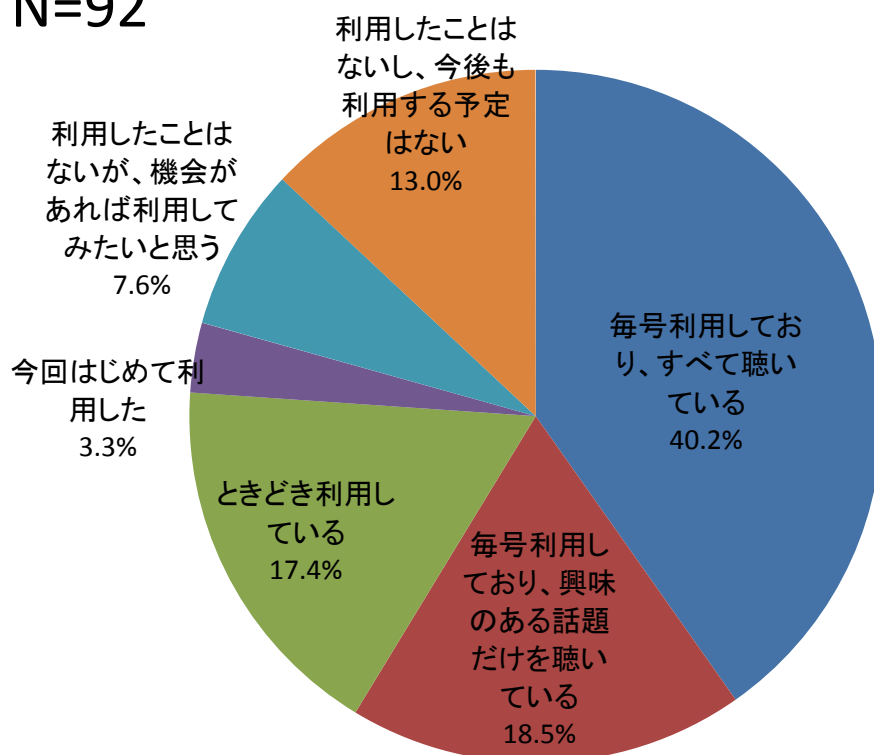
I 音声広報CD「明日への声」について

問2 音声広報CD「明日への声」をどのように利用されていますか。または利用したいと思いますか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

◆「明日への声」の利用状況をみると「毎号利用しており、すべて聴いている」が40.2%、「毎号利用しており、興味のある話題だけを聴いている」が18.5%となっており、毎号聴いている方は全体の約6割となっている。「ときどき利用している」が17.4%、「今回はじめて利用した」が3.3%で、利用したことのある方は全体の約8割となっている。

◆「利用したことはないし、今後も利用する予定はない」と回答した方は13.0%である。

N=92

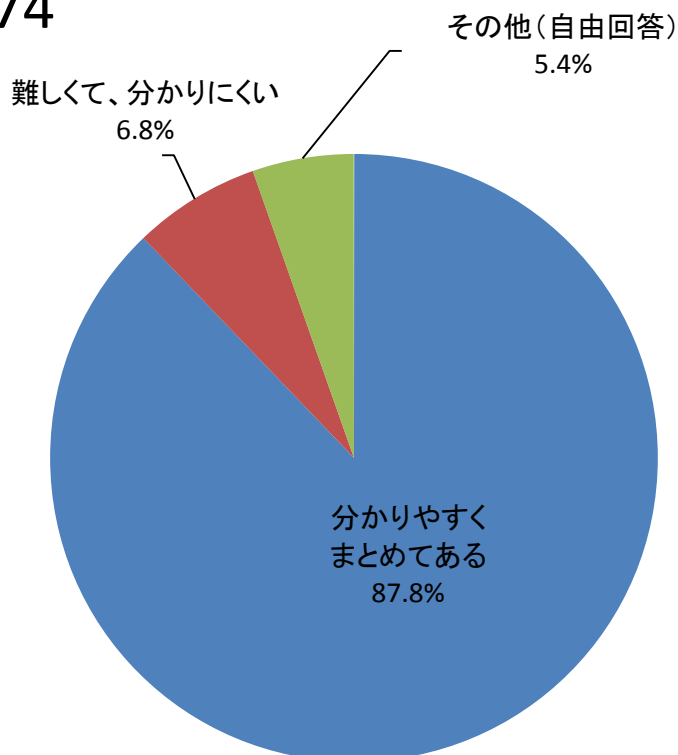


I 音声広報CD「明日への声」について

問3 ご利用いただき、どのような感想を持たれましたか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆ 「明日への声」を利用している方の感想をみると、「分かりやすくまとめてある」が87.8%となっている。
- ◆ 「難しくて、分かりにくい」と回答した方は6.8%である。

N=74



○その他回答内容(抜粋)

・百人一首やジャズ、楽器紹介など、活字版にない特典が良い

・わかりやすいがもう少し情報量を増やしてほしい。
など

I 音声広報CD「明日への声」について

問4 このCDの中に役に立つ情報はありましたか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆ 「明日への声」に「役に立つ情報があった」と回答した方は100%となっている。(N=71)

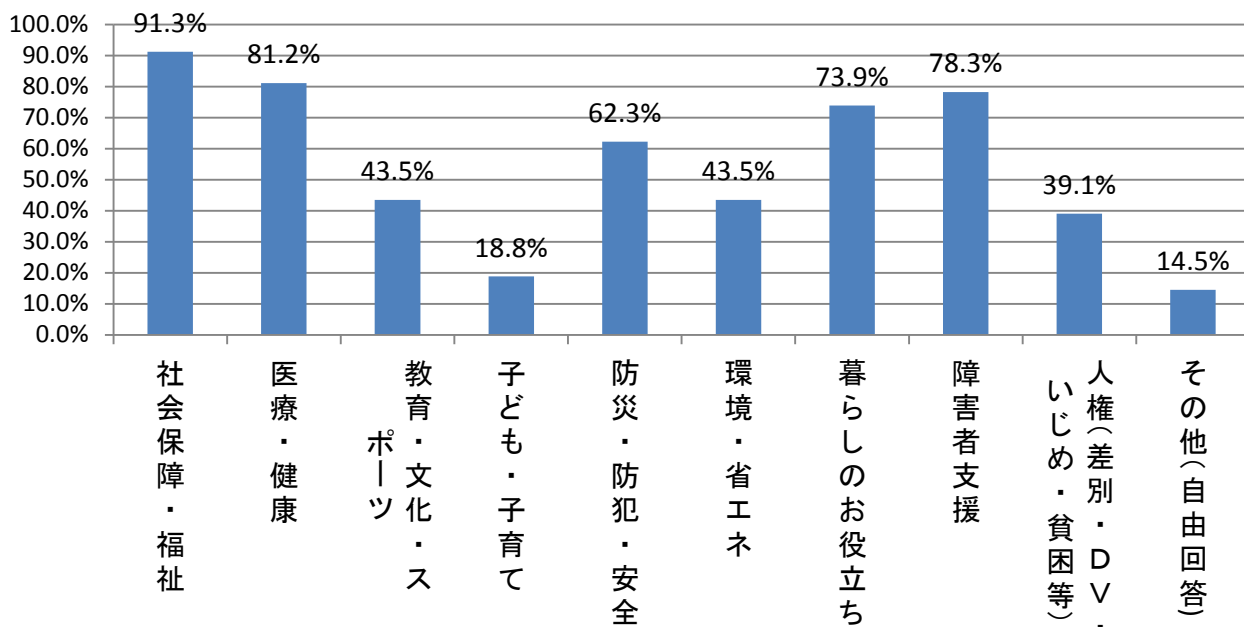
I 音声広報CD「明日への声」について

問5 問4で「1 役に立つ情報があった」とお答えいただいた方にお聞きします。

具体的に、どのような情報が役に立ちましたか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- ◆ 「明日への声」で役に立った情報は、「社会保障・福祉」が91.3%と最も多い。
- ◆ 次いで、「医療・健康」が81.2%、「障害者支援」が78.3%、「暮らしのお役立ち」が73.9%となっている。

N=69



○その他の回答内容(抜粋)

- ・音楽
- ・年金情報

など

I 音声広報CD「明日への声」について

問6 このCDには、政府からの情報のほかにも「小倉百人一首」や「世界の音楽」等を紹介するコーナーがあります。ご意見、ご感想があればぜひお聞かせください。(FA)

- ・とても面白いので続けてください
- ・「小倉百人一首」がとても良い。説明もわかりやすくまとめられているのでぜひ1枚のCDにしてほしい
- ・じっくり聞いてみるとなかなか役に立つ情報が多く、楽しく聞かせてもらっている
- ・趣味的要素があり小倉百人一首よりは身近なサギにだまされない方法などのレクチャーなど入れてはどうか
- ・大変勉強になった。楽しく面白い、文系理系スポーツなどいろいろなものをやってほしい
- ・ちょっと難しいので気軽に聴けるもの希望

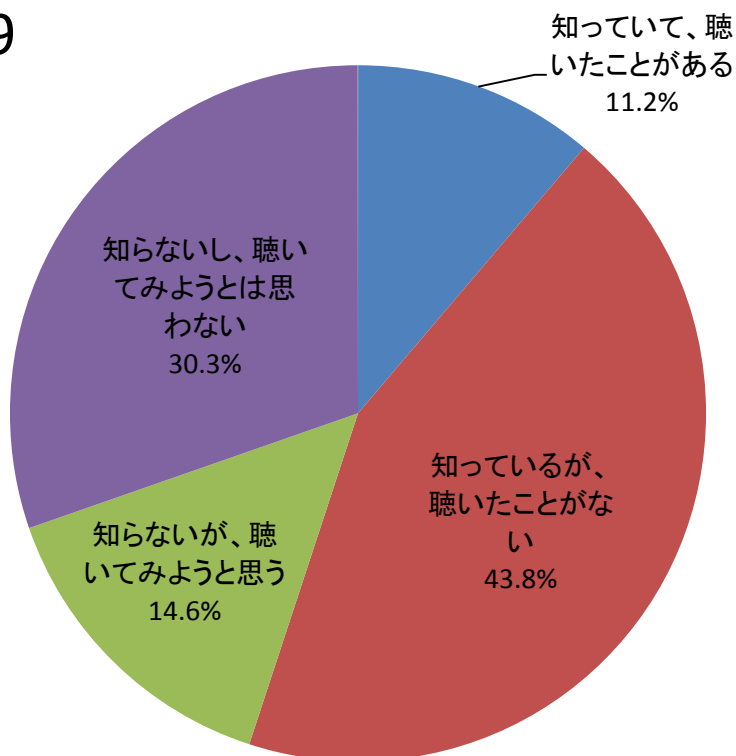
など

I 音声広報CD「明日への声」について

問7 このCDは、政府広報オンライン(インターネット)でも聴くことができますが、ご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆ インターネットでも「明日への声」を聴くことができることについて、「知っていて、聴いたことがある」が11.2%、「知っているが、聴いたことがない」が43.8%で、知っている方は全体の5割を超えている。
- ◆ 「知らないし、聴いてみようと思わない」と回答した方は30.3%である。

N=89

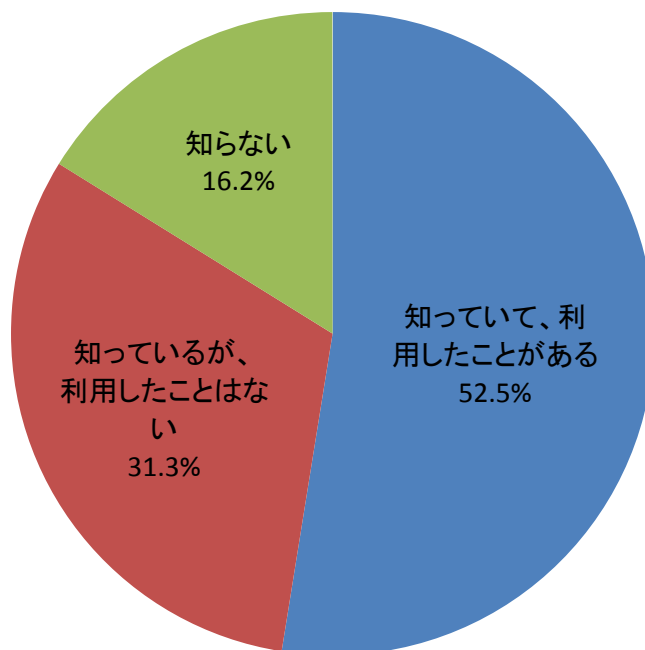


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問8 内閣府では、音声広報CD「明日への声」のほかに、点字・大活字による広報誌「ふれあいらしんばん」を作成しています。この冊子をご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆ 「ふれあいらしんばん」の認知状況をみると、「知っていて、利用したことがある」が52.5%、「知っているが、利用したことはない」が31.3%となっており、知っている方は全体の約8割となっている。
- ◆ 「知らない」と回答した方は16.2%である。

N=99

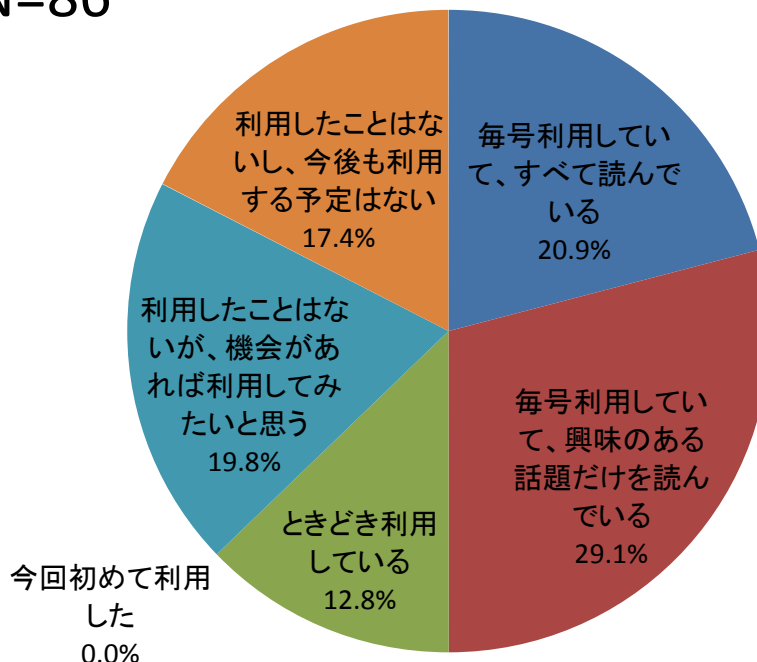


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問9 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」をどのように利用されていますか。または利用したいと思いますか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆ 「ふれあいらしんばん」の利用状況をみると、「毎号利用していて、すべて読んでいる」は20.9%、「毎号利用していて、興味のある話題だけを読んでいる」は29.1%、「ときどき利用している」が12.8%で、利用したことのある方は、全体の約6割となっている。
- ◆ 「利用したことはないし、今後も利用する予定はない」と回答した方は17.4%である。

N=86

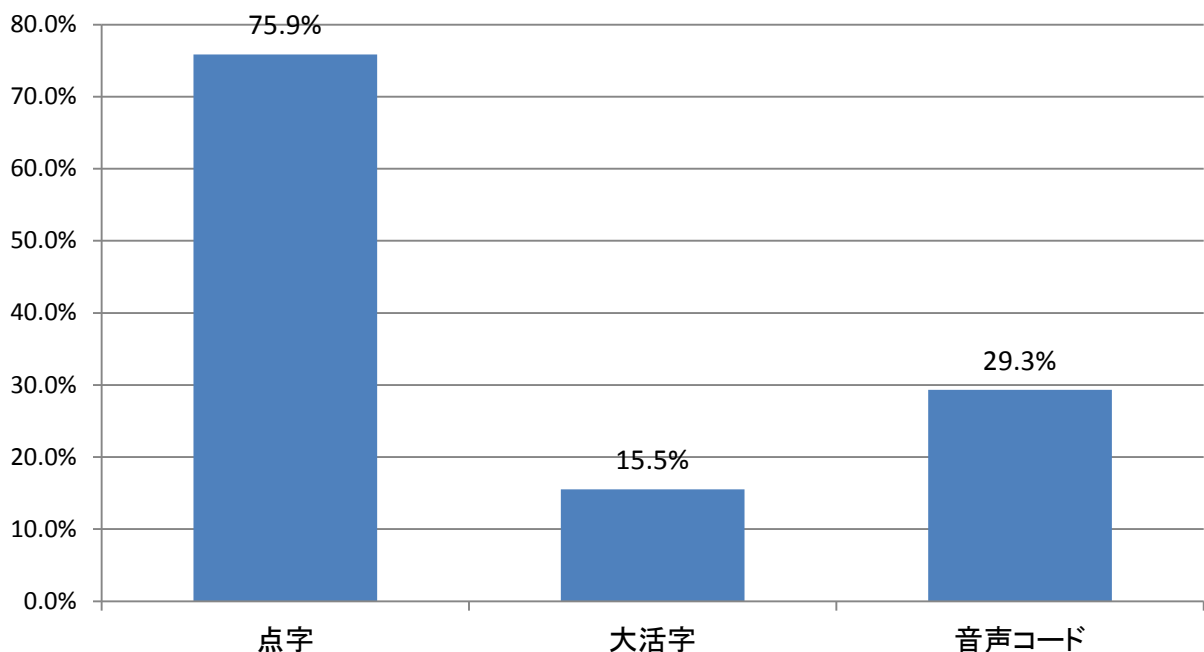


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問10 この冊子は、点字と大活字、音声コードをご利用いただける広報誌ですが、どちらを利用されていますか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- ◆ 「ふれあいらしんばん」で「点字」を利用している方は75.9%と最も多い。
- ◆ 次いで「音声コード」を利用している方が29.3%、「大活字」を利用している方が15.5%となっている。

N=58

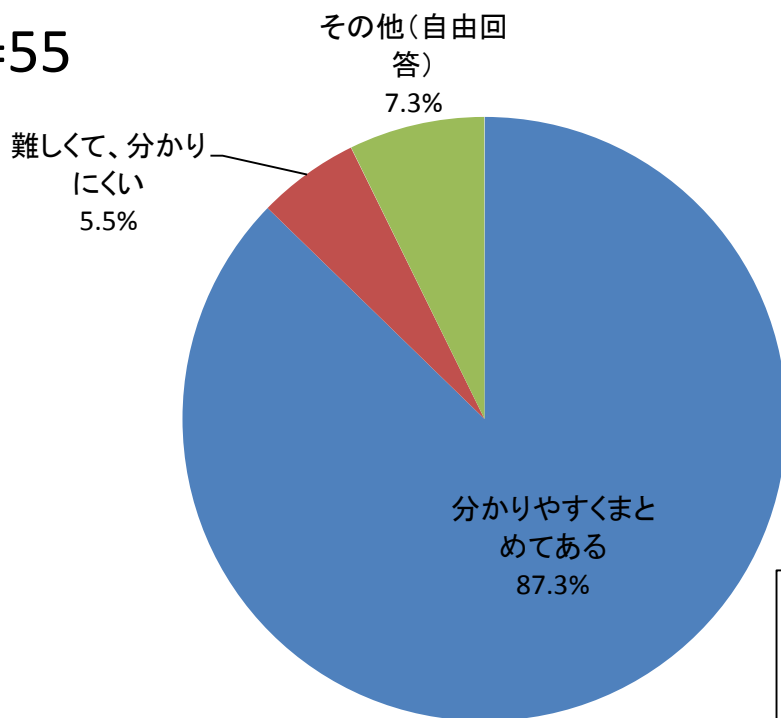


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問11 ご利用いただき、どのような感想を持たれましたか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆ 「ふれあいらしんばん」を利用している方の感想をみると、「分かりやすくまとめている」が87.3%と最も多い。
- ◆ 「難しくて、分かりにくい」と回答した方は5.5%である。

N=55



○その他の回答内容(抜粋)

- ・施策や制度について基本的な知識がほしい
- ・点字版も音楽を除き、小倉百人一首などの情報を入れてほしい。

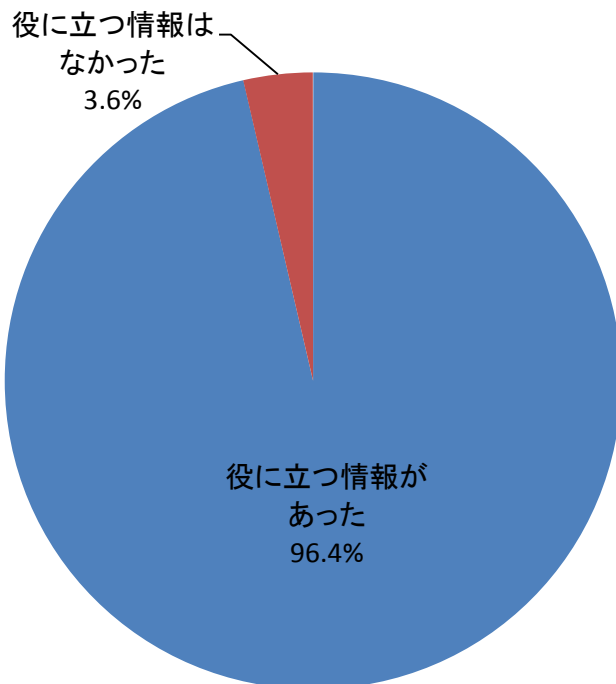
など

Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問12 この冊子の中に役に立つ情報はありましたか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆ 「ふれあいらしんばん」に「役に立つ情報があった」と回答した方は96.4%である。
- ◆ 一方、「役に立つ情報はなかった」と答えた方は3.6%である。

N=55

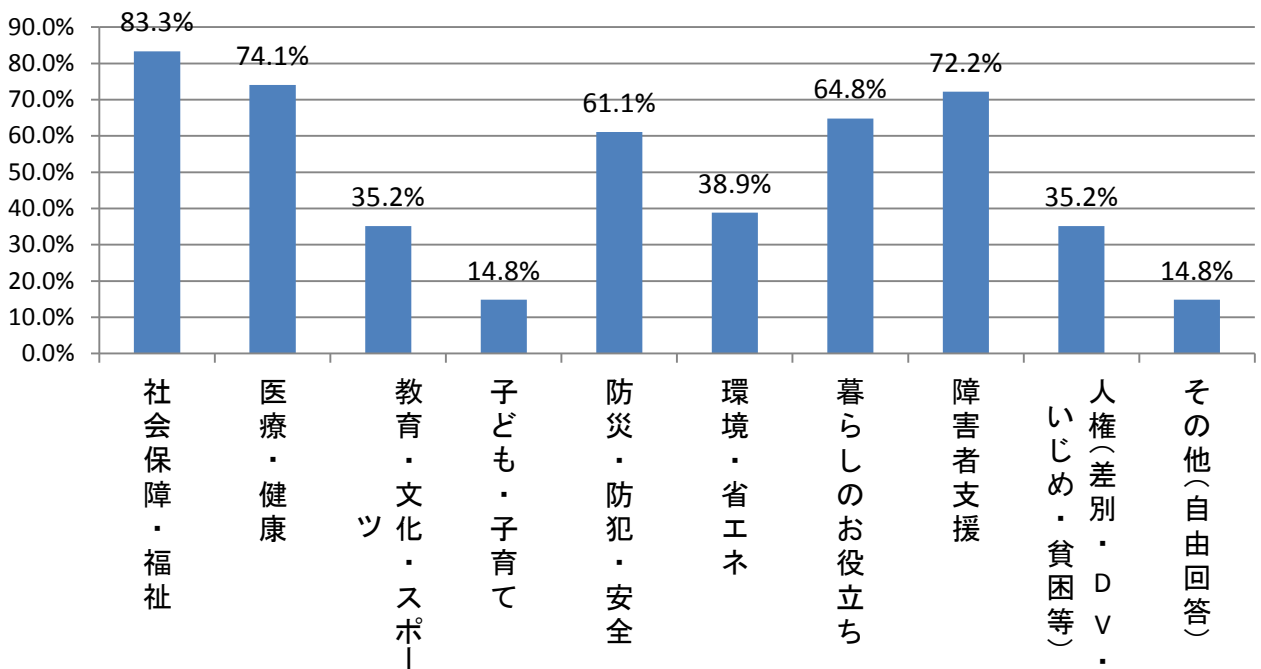


Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問13 問12で「1 役に立つ情報があった」とお答えいただいた方にお聞きします。具体的に、どのような情報が役に立ちましたか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- ◆ 「ふれあいらしんばん」で役に立った情報は、「社会保障・福祉」が83.3%と最も多い。
- ◆ 次いで「医療・健康」が74.1%、「障害者支援」が72.2%、「暮らしのお役立ち」が64.8%となっている。

N=54



○その他の回答内容(抜粋)

・よくまとめられていますが、もっと踏み込んだ情報が欲しい、と感じる内容が多いと感じます。予算と分量の関係もあるでしょうから、できればもっと分量を増やして内容の充実を期待します。

・マイナンバーに関する情報

・年金、金融

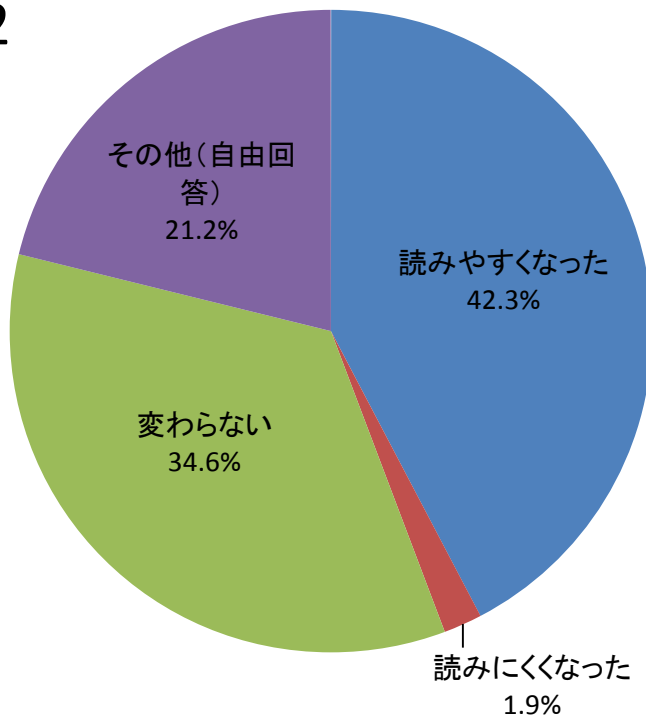
など

Ⅱ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問14 第54号(平成29年3月発行)までは、大活字の上に点字表記を行っていましたが、利用者からの意見を踏まえ、第55号(平成29年7月発行)より大活字と点字を分けましたが、読みやすさについて、当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆ 大活字と点字表記を分けたことでの読みやすさについて、「読みやすくなった」と答えた方が42.3%であった。
- ◆ 一方、「読みにくくなった」と答えた方は1.9%で、「変わらない」と答えた人は34.6%であった。

N=52



○その他の回答内容(抜粋)

- ・点字と大活字は分けた方がいいと思う。
- ・点字と大活字を別の冊子に分け、点字版は通常の点字用紙のサイズのものにしてほしい。

など

Ⅲ 共通事項

問15 「音声広報CD」または「点字・大活字広報誌」について、ご意見やご要望があれば、ぜひお聞かせください。(FA)

・法律や制度の改正など新しい情報を、分かりやすく紹介してもらえるので、大変役に立っている。

・日本の視覚障害者で点字使用者は、その1、2割と言われており8割は音声にたよっている現状です。音声CDは非常に助かります。

・どちらの情報誌も図書館等に配布するのではなく、各個人に配布してほしい。

・他に色々情報ソースがあるが自分が知っているなかでは一番わかりやすい

・生活・文化などの情報が知りたいです。

・大活字冊子は、行間を詰めて、一文字でも多く情報を入れてほしい。少しもの足りない気もする

・季節ごとに4回発行してほしい。また緊急的でどうしても伝えたいことは別に発行してほしい

・広報誌があることを知らない視覚障害者がいると思うので啓発活動が必要だと思う。

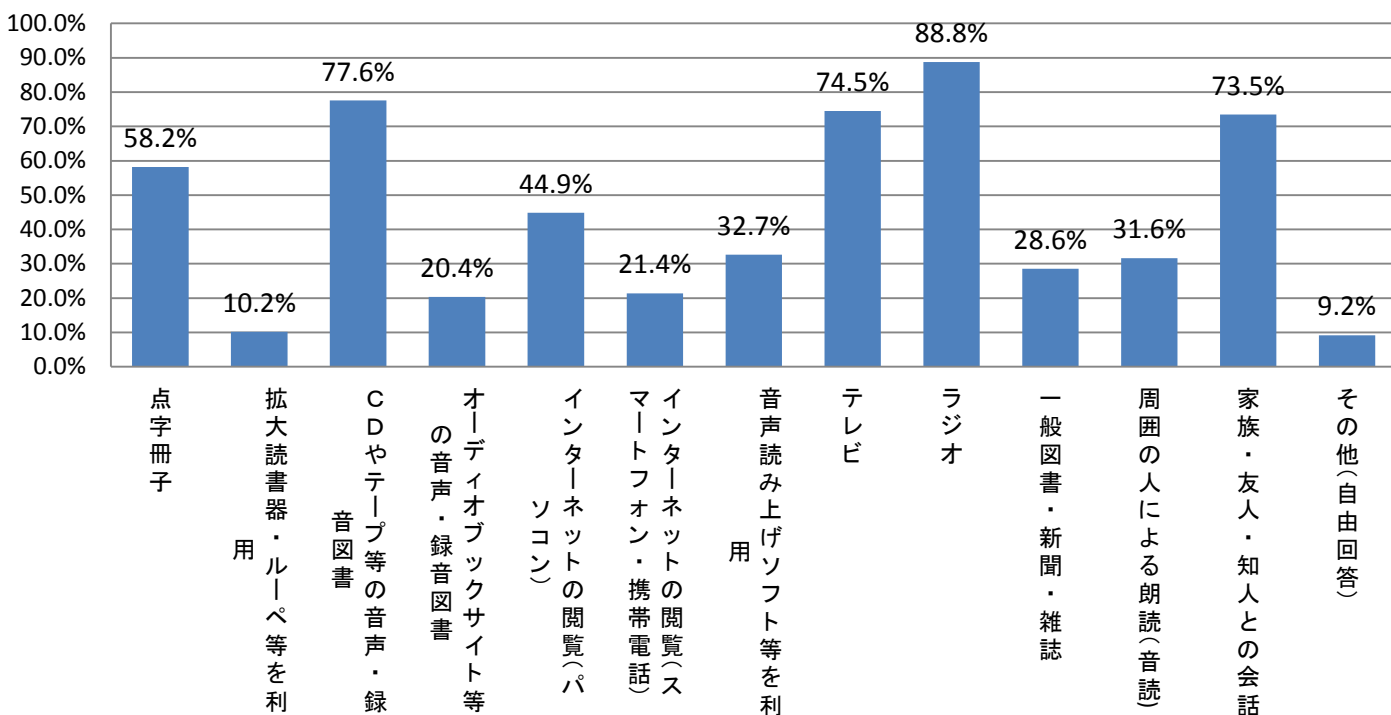
など

Ⅲ 共通事項

問16 普段、どのような方法で情報入手されていますか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- ◆ 普段情報を「ラジオ」から取得している人が88.8%と最も多い。
- ◆ 次いで「CDやテープ等の音声・録音図書」が77.6%、「テレビ」が74.5%、「家族・友人・知人との会話」が73.5%となっている。

N=98



○その他の回答内容(抜粋)

- ・サピエ図書館利用
- ・ヘルプサービス

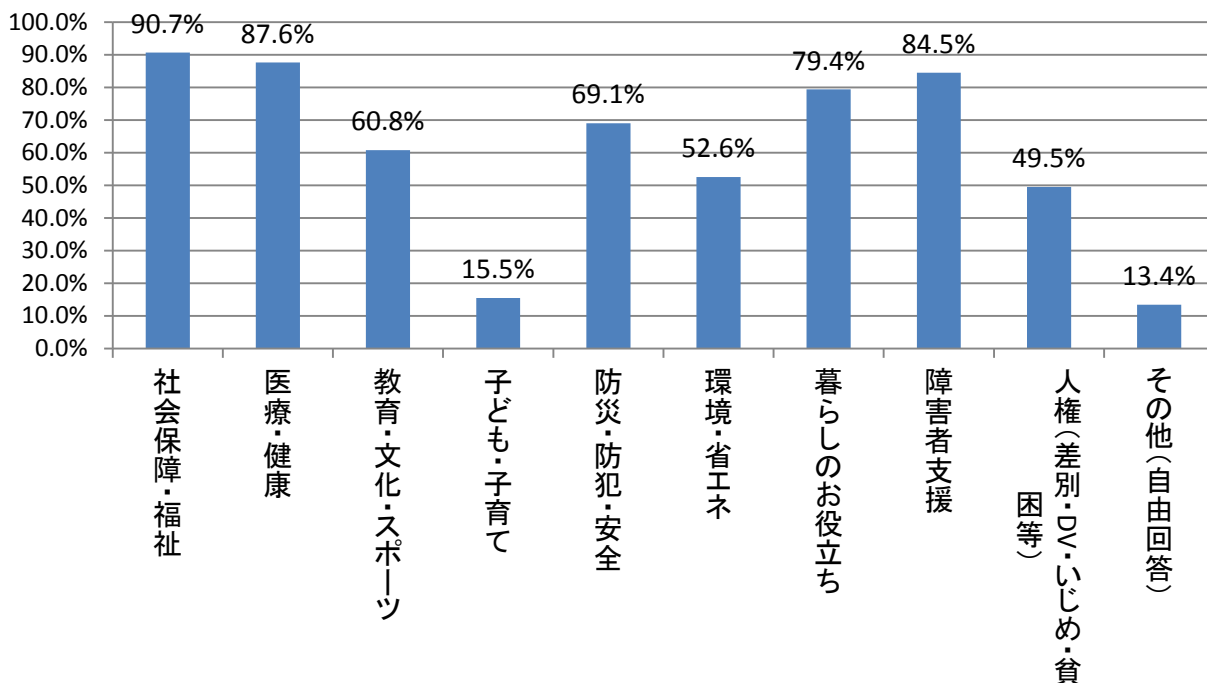
など

Ⅲ 共通事項

問17 問16でお選びいただいた方法により、どのような情報を入手したいと思われますか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- ◆ 入手したい情報については、「社会保障・福祉」が90.7%と最も多い。
- ◆ 次いで、「医療・健康」が87.6%、「障害者支援」が84.5%、「暮らしのお役立ち」が79.4%となっている。

N=97



○その他の回答内容(抜粋)

- ・文学関係
- ・観光情報
- ・鍼灸関係
- ・生活(特に移動に関する)情報
- ・外国の障害者の生活
- ・博物館や、美術館の企画展の情報 など

(参考)対象者属性

(1)性別

男	女	無回答
71人	33人	2人

(2)年代

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
0人	2人	2人	14人	17人	33人	26人	10人	2人

(3)視力の状態

全盲	弱視	その他	無回答
70人	22人	7人	7人

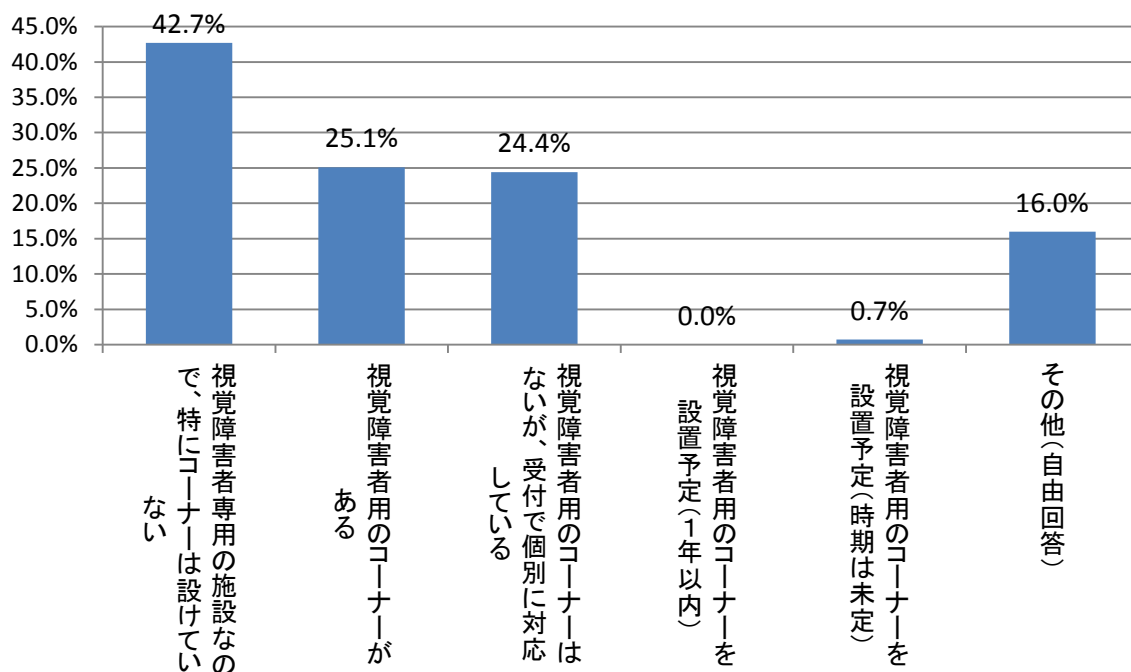
②CD・冊子 配布先施設等向け 調査の結果

I 施設について

問1 障害者差別解消法が平成28年4月に施行され、合理的配慮が求められていますが、貴施設では、視覚障害者向けに音声CDや点字図書、大活字図書等を取りまとめたコーナーを設けていらっしゃいますか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- ◆ 施設における視覚障害者向けの対応として、「視覚障害者用のコーナーがある」が25.1%、「受付で個別に対応」が24.4%となっている。
- ◆ 「視覚障害者専用施設なので、特にコーナーは設けていない」が42.7%と最も多い。

N=131



○その他の回答内容(抜粋)

- ・CD、点字、大活字それぞれのコーナーを設置
- ・大活字コーナーはあるが、視覚障害者専用ではない

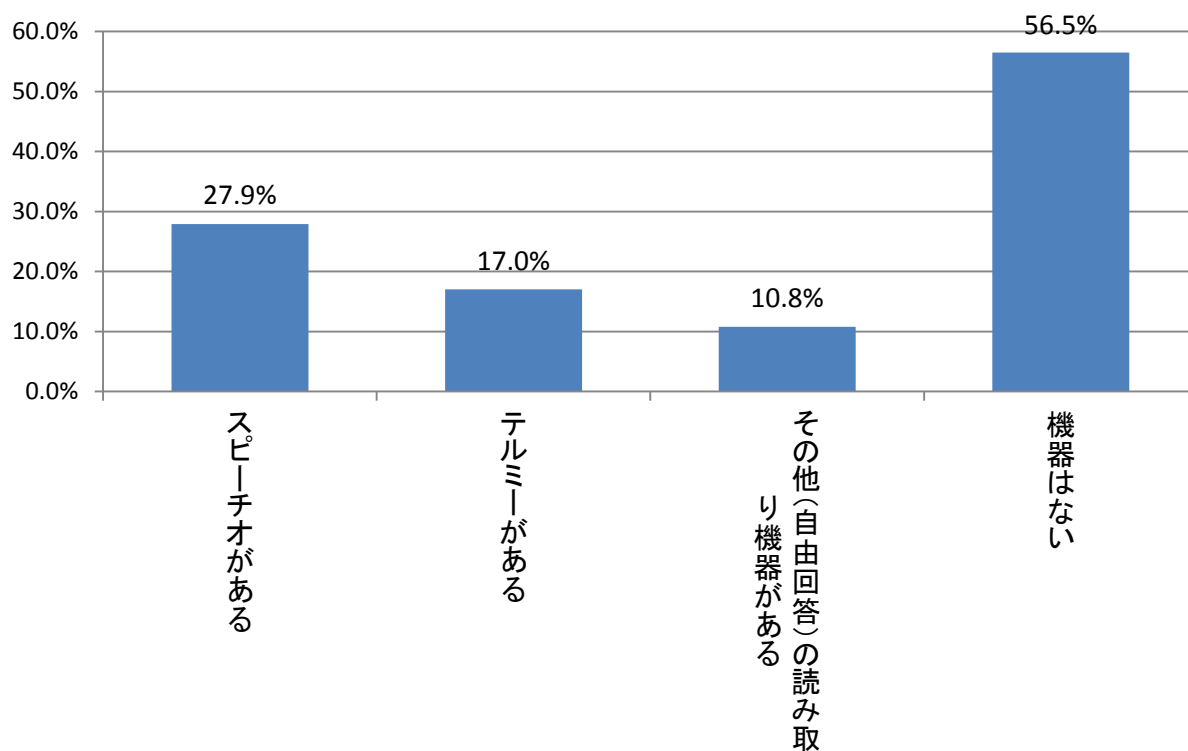
など

I 施設について

問2 貴施設に音声コードを読む機器はありますか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- ◆ 音声コードを読む機器については、「スピーチオがある」が27.9%、「テルミーがある」が17.0%となっている。
- ◆ 「機器はない」という施設は56.5%と最も多い。

N=129



○その他の回答内容(抜粋)

- ・よむべえ
- ・プレクストーク

など

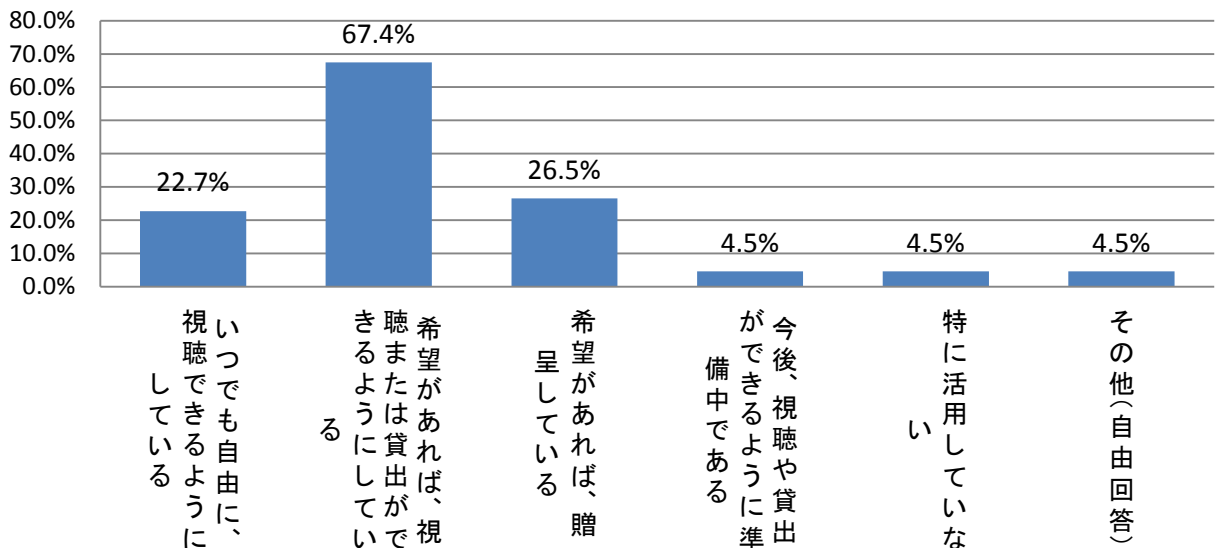
Ⅱ 音声広報CD「明日への声」について

問3 音声広報CD「明日への声」は、視覚障害者の方や小さな文字が読みにくい方等に向けて、政府のさまざまな情報を音声でお届けしています。

このCDの活用方法について、当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- ◆ 「明日への声」の活用方法は、「希望があれば視聴または貸出」が67.4%と最も多い。
- ◆ 次いで「希望があれば贈呈」が26.5%、「いつでも自由に視聴できるようにしている」が22.7%となっている。

N=132



○その他の回答内容(抜粋)

- ・寄贈分を希望者へ送付
- ・理事、監事、支部長等へ送り、各支部等で活用してもらっている

など

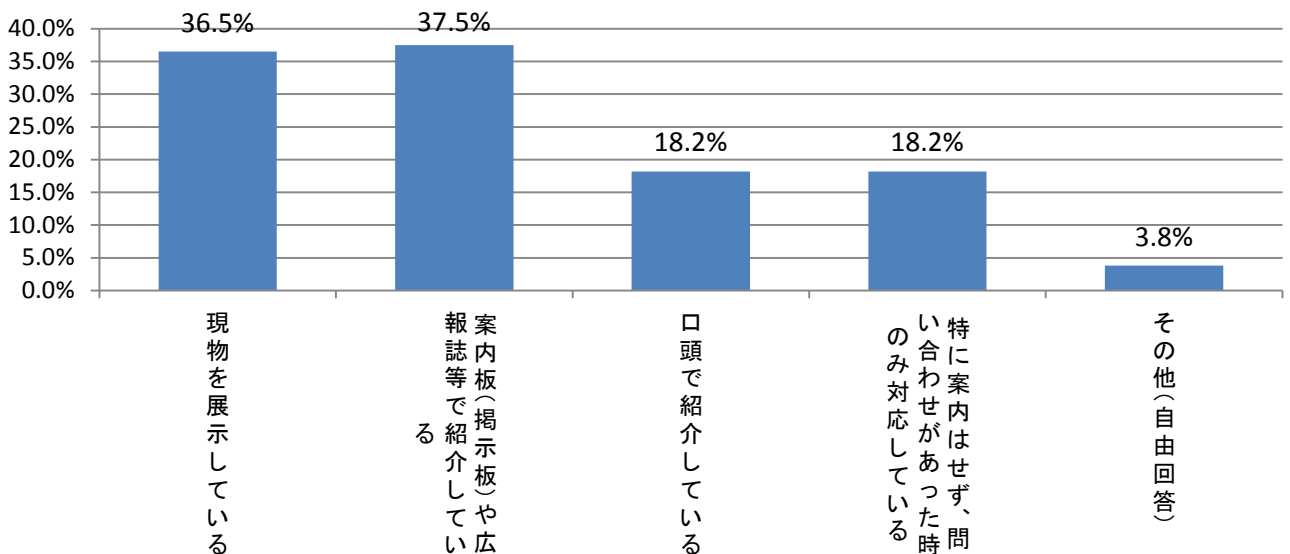
Ⅱ 音声広報CD「明日への声」について

問4 問3で「1 いつでも自由に、視聴できるようにしている」または「2 希望があれば、視聴または貸出ができるようにしている」とお答えいただいた方にお聞きします。

具体的に、どのような案内をされていますか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- ◆ 「明日への声」の具体的な案内方法は、「案内板(掲示板)や広報誌等で紹介している」が37.5%と最も多く、次いで「現物を展示している」が36.5%となっている。

N=104



○その他の回答内容(抜粋)

- ・自館作製の録音図書目録にて案内
- ・デイジー図書の利用者に貸出している

など

Ⅱ 音声広報CD「明日への声」について

問5 問4で「4 特に案内はせず、問い合わせがあった時のみ対応している」とお答えいただいた方にお聞きします。
その理由をお聞かせください。(FA)

■主な回答例

- ・展示スペースがない為
 - ・視聴するための機器がないため
 - ・インターネットで聴くことができるので、館内で聴きたい方のみにCDで提供することとしている
 - ・配架場所が対面読書室の中であるため問い合わせがあった時に対応している
- など

Ⅱ 音声広報CD「明日への声」について

問6 問3で「5 特に活用していない」とお答えいただいた方にお聞きします。

その理由をお聞かせください。(FA)

■主な回答例

・利用者が知らないため利用がない

・現況では、特に需要がないので

・当館では、ボランティアによる録音雑誌や録音図書の制作、電話による朗読サービスが主なため

・利用者がいないため。ただし、対面、音訳ボランティアさんには情報提供している

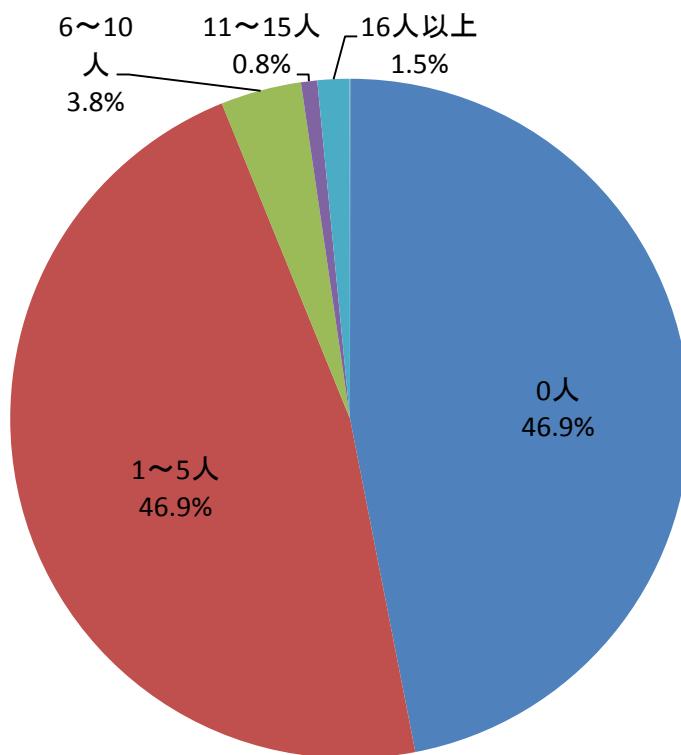
など

Ⅱ 音声広報CD「明日への声」について

問7 1か月の間に音声広報CD「明日への声」を利用された方はおよそ何人ですか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆ 「明日への声」の利用状況は「0人」、「1～5人」がそれぞれ46.9%で最も多い。

N=130

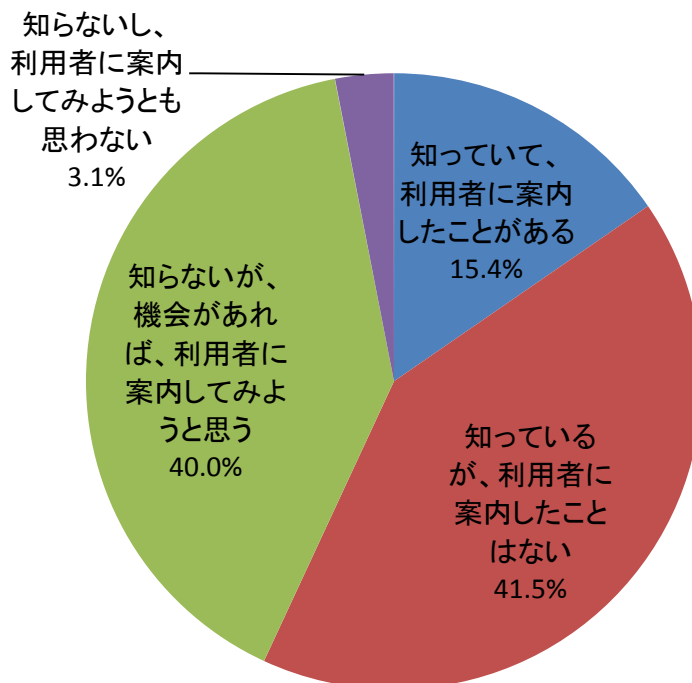


Ⅱ 音声広報CD「明日への声」について

問8 このCDは、政府広報オンライン(インターネット)でも聴くことができますが、ご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆ 政府広報オンライン(インターネット)で聴くことができることについて、「知っているが、利用者に案内したことはない」が41.5%と最も多い。「知らないが、機会があれば利用者に案内してみようと思う」が40.0%と続く。
- ◆ 知っていると答えた施設は、全体の約6割である。
- ◆ 「知らないし、利用者に案内してみようとも思わない」と答えた施設が3.1%である。

N=130



Ⅱ 音声広報CD「明日への声」について

問9 このCDに関するご意見やご感想をお聞かせください。
利用者から寄せられたご意見等があった場合は、あわせてご記入ください。(FA)

- ・とても聞きやすいです。
- ・要所を押えて、トピックスもバラエティに富みとても聞きやすい。是非今後も発行してほしい。
- ・堅苦しい広報と思っていましたが、いろいろな情報をたのしく聞けるように工夫されて編集されていると感じました。
- ・明瞭な声で読み上げられており、聞き取りやすい。また、最初にトピックスを読み上げている点など、音声のみで内容を伝えるために必要な配慮がされたCDであると感じた。
- ・デイジー版にしてほしいとの声があります。
- ・広報不足もあり、利用促進ができていないのが現状です。政府広報ということで固い情報のイメージがありますが、音楽についてなど身近で楽しい情報もあることを伝えていけたらと思います。

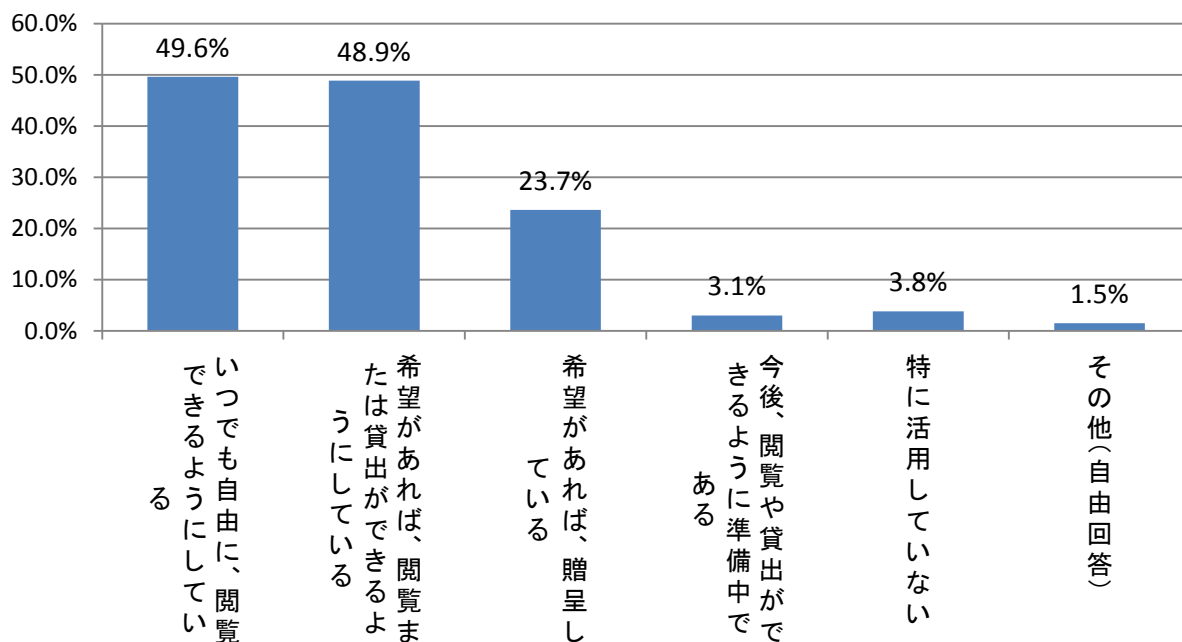
など

Ⅲ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばんについて」

問10 音声広報CD「明日への声」と同時に、点字・大活字、及び音声コードによる広報誌「ふれあいらしんばん」を発行していますが、この冊子の活用方法について、当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- ◆ 「ふれあいらしんばん」の活用方法は、「いつでも自由に閲覧できるようにしている」が49.6%と最も多い。
- ◆ 次いで「希望があれば閲覧または貸出ができるようにしている」が48.9%となっている。
- ◆ 「特に活用していない」は3.8%である。

N=131



○その他の回答内容(抜粋)

・対面朗読室へ配架している

など

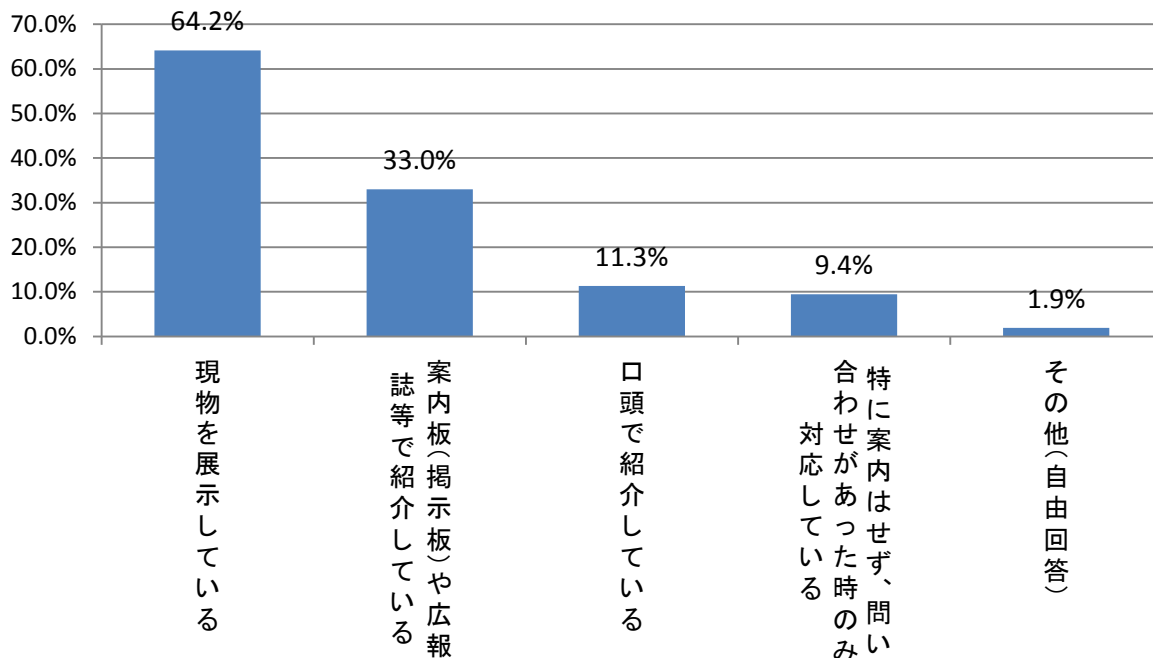
Ⅲ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばんについて」

問11 問10で「1 いつでも自由に、閲覧できるようにしている」または「2 希望があれば、閲覧または貸出ができるようにしている」とお答えいただいた方にお聞きします。

具体的に、どのような案内をされていますか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

◆ 「ふれあいらしんばん」の案内方法は、「現物を展示している」が64.2%と最も多い。次いで「案内板(掲示板)や広報誌等で紹介している」が33.0%となっている。

N=106



○その他の回答内容

- ・自館作成の点字図書目録にて案内
- ・当館のホームページで案内している

Ⅲ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問12 問11で「4 特に案内はせず、問い合わせがあった時のみ対応している」とお答えいただいた方にお聞きします。
その理由をお聞かせください。(FA)

■主な回答例

- ・展示スペースがない為
- ・対面朗読室に配架しており、対面朗読室の利用は申し込みが必要なため。
- ・利用が少なく、知っている人が少ないため

など

Ⅲ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問13 問10で「5 特に活用していない」とお答えいただいた方にお聞きします。

その理由をお聞かせください。(FA)

■主な回答例

- ・存在を知らない
- ・点字を読める利用者がいない
- ・利用者からの要望がないので。

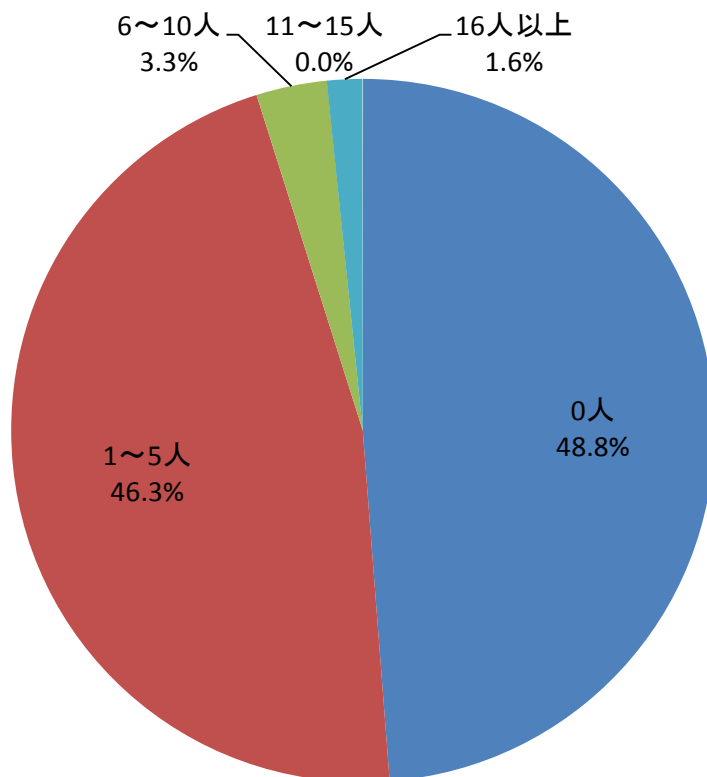
など

Ⅲ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばんについて」

問14 1か月の間に点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」を利用された方はおよそ何人ですか。当てはまるものを1つお選びください。
(SA)

◆ 「ふれあいらしんばん」の利用状況で「0人」が48.8%と最も多く、次いで「1～5人」が46.3%となっている。

N=123



Ⅲ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問15 第54号(平成29年3月発行)までは、大活字の上に点字表記を行っていましたが、利用者からの意見を踏まえ、第55号(平成29年7月発行)より大活字と点字を分けました。このことに対して利用者から寄せられた意見等がありましたら、お聞かせください。(FA)

- ・弱視の人にとっては、分けてよかった
- ・読み易くなった
- ・利用者から特に意見はいただいていませんが、大活字を利用する方にも見やすいように感じます。
- ・これまで通り第54号までの型でよい
- ・ほとんどが全盲のため、ぶ厚くなったという程度

など

Ⅲ 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問16 この冊子に関するご意見やご要望をぜひお聞かせください。
利用者から寄せられたご意見等があった場合は、あわせてご記入ください。(FA)

・大活字と点字は分けてある方が読みやすいので、今後もこの形態で発行して欲しい

・様々な情報が入手できて役に立っていると好評

・厚生労働省や警察など身近な行政についてわかりやすい広報が掲載されており、視覚障害者だけでなく高齢者などの大活字の面からも利用者にすすめていこうと考えております。

・今後は音声CDだけでよい

・挿絵が多く、読みやすくて分かりやすい。漢字にふりがなをふるとなお読みやすい

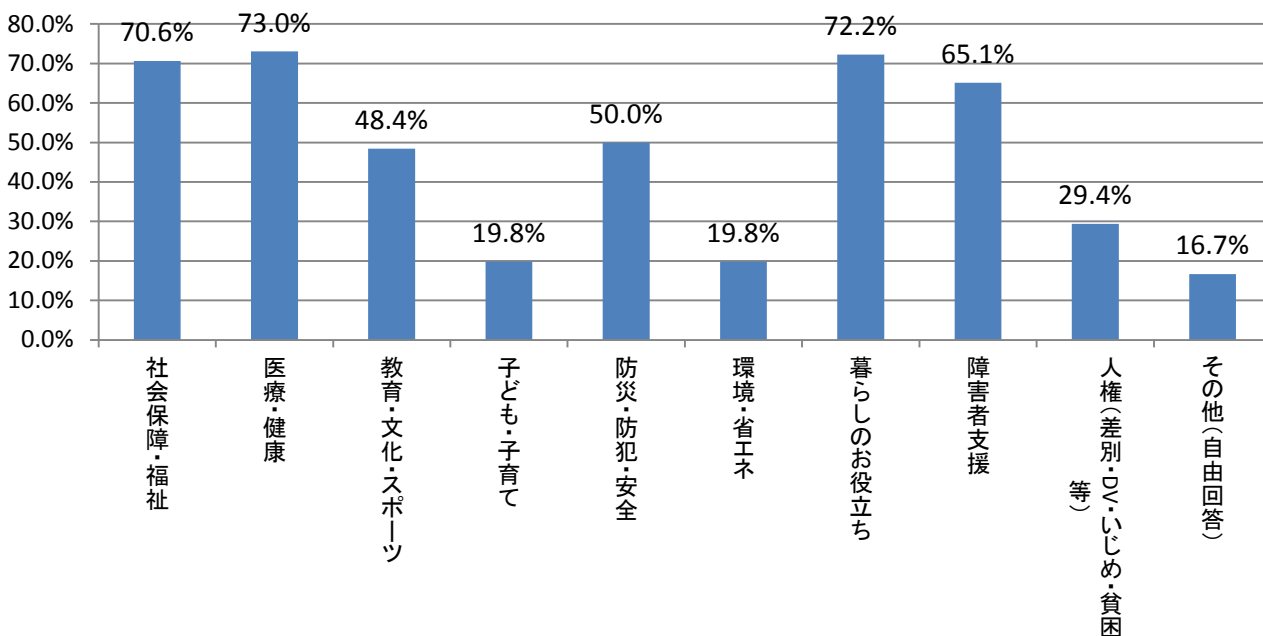
など

IV 共通事項

問17 視覚に障害をお持ちの方や小さな文字が読みにくい方は、普段、どのような情報を求めているとお感じになりますか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- ◆ 視覚に障害をお持ちの方や小さな文字が読みにくい方の情報ニーズについて「医療・健康」が73.0%と最も多い。
- ◆ 次いで「暮らしのお役立ち」が72.2%、「社会保障・福祉」が70.6%となっている。

N=126



○その他の回答内容(抜粋)

- ・小説
- ・種々の最新情報

など

IV 共通事項

問18 音声広報CD及び、点字・大活字広報誌の利用促進について、苦勞されていることや工夫されていることがありましたら、ぜひお教えてください。(FA)

- ・利用者への周知方法に苦慮している(図書館)
- ・狭い図書館のため、コーナーを作る事が制限が有る。(図書館)
- ・CDを入れる機器の操作部分がフラットであり、タッチパネル式の物もあり凸凹がなくて全盲の方には使用できずシールで対応している(盲養護老人ホーム)
- ・図書館ニュースにてPRしています。誰かが利用すると、内容が拡散して他の方も読まれるようです。(点字図書館)
- ・視覚障害者の方は、ほとんどが直接来館が困難であり、図書館に置いておくだけではほとんど利用がないため、「声の図書館だより」など利用者に直接届くような形でPRしています。(図書館)

など